



市史編さん委員会会長
工藤 欣一

海に面した八戸は、是川の縄文の昔から現代の高度産業社会に至るまで、個性的な歴史を繰り広げてきました。八戸市史の編さんでは、このような個性豊かな八戸の歴史文化を着実に掘り起こし、新しい視点から歴史を再発見しようと考えています。郷土を見つめ直す“新しい波”がこの市史編さんから始まることを期待しています。

後世に伝えよう

八戸市の歴史

市制施行70周年を迎えた八戸市は、これからどのような未来を目指すのでしょうか。

未来は過去と現在の延長にあります。これまでを振り返ることに未来へのヒントが隠されているのではないのでしょうか。

そこで市では、現在市史編さん事業に取り組んでいます。

昭和初期の三日町

市史編さんの概要

八戸市では、昭和44年から56年にかけて一度市史を刊行していますが、取り上げた時代が限られていたことや、その後の研究が進展したこともあり、再度、市史編さんに取り組みことになりました。

これは、新たな視点から歴史を物語る貴重な資料を収集し、調査研究して出版刊行しようという事業です。

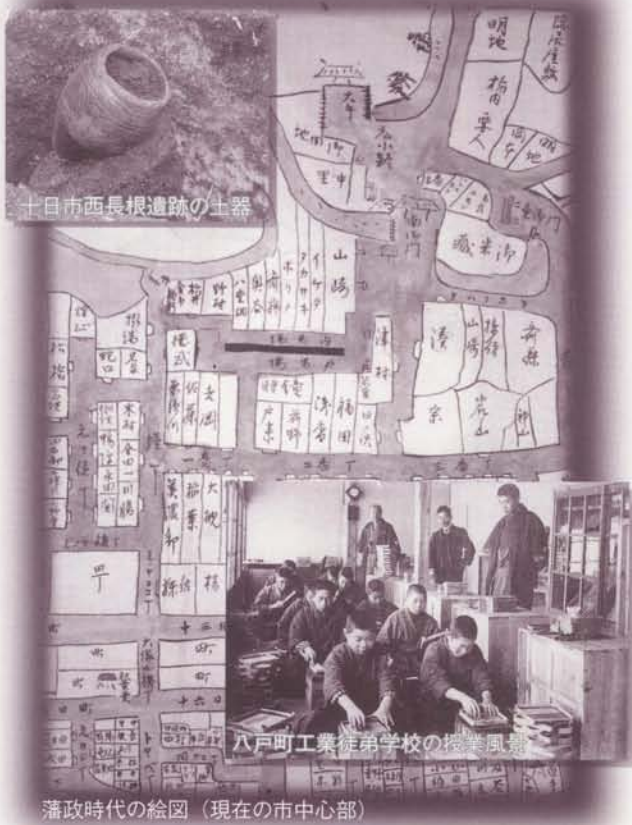
日本史の中の八戸を探ることが目的ですが、それだけではなく、収集した資料を市民へ提供して市民共有の財産とし、時代への継承を図ります。また、地元研究者の育成や発掘を押し進めるなど「地

域の総合的文化活動」として、市民が地域の歴史により親しむための環境づくりを心がけていきます。

編さん事業の期間は、おおむね15年間で、原始・古代から現代までの長い時代の経過や、自然や民俗など取りまとめることにしています。

また、八戸研究の基礎的資料や研究成果を双書の形で発刊したり、研究年報を発刊します。

現在、この事業を推進するための市史編さん委員会・編集委員会・専門部会が組織され、ここで具体的な研究内容の検討や調査研究活動が本格的に進められています。



十日市西長根遺跡の土器

八戸町工業徒弟学校の授業風景

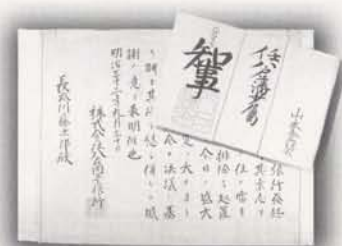
藩政時代の絵図（現在の市中心部）

八戸のお宝募集

市史編さん室では、資料を収集しています。今回の編さん事業で求めているのは、江戸時代の手紙や書き付けなどの古文書類、明治時代以降の文書や写真類というようなごく一般的なありふれた庶民の資料です。

こうした資料は近年、住宅の新築などの際に捨てられたり散逸したりすることが少なくありません。今の世代から見ると、ただの紙切れにしか見えないものでも、そこに残された文字や図は多くのことを伝えてくれます。

お宅に眠っている資料がありませんか。



山本家寄託、中里家寄贈の資料

問い合わせ

図書館市史編さん室

【TEL】022・0266

【FAX】71・1312

〒031-0022 八戸市糠塚字下道2-1